

収蔵文書の紹介展

「三八豪雪 ー昭和38年1月豪雪の記録ー」

昭和37年(1962)12月下旬から38年2月上旬にかけて、日本列島は記録的な豪雪と異常低温に見舞われました。降雪は北陸地方を中心として、北海道・東北から九州までの広い範囲に及び、九州の平野部でも積雪が30cmに達しました。この豪雪は「昭和38年1月豪雪」と名付けられ、「三八豪雪」とも呼ばれました。

広島県では、県北地方の最深積雪が4m以上に達し、山県郡芸北町(現在の北広島町)や比婆郡高野町(現在の庄原市)などでは、交通が遮断されて孤立地帯が続出しました。また、瀬戸内海沿岸部においても、異常低温により、かんきつ類などの農産物に大きな被害をもたらしました。県内の死者は7人、家屋の全半壊は137戸に及び、被害総額は41億円に上りました。特に被害が大きかった県北地方の山間部では、この豪雪によって、拳家離村(一家を挙げて村を離れること)の動きが顕在化し、過疎化に拍車をかけました。

本展では、三八豪雪に関する記録資料によって、被害の様子や対応の状況を跡付けるとともに、その社会的影響について考えてみたいと思います。



『昭和38年異常気象報告 第1号』

昭和38年6月10日

広島地方気象台

〔県行政文書(旧長期保存文書103574 所収)〕



積雪被害家屋を取除く消防団員
(戸河内町)



比婆郡高野町の積雪状況



ヘリコプターによる患者空中輸送
(高野町→庄原赤十字病院)

常設展示

「古文書への招待 ー村方文書と武家文書ー」

当館が収蔵する古文書のうち、村方文書と武家文書、それぞれの特徴について、代表的な古文書を展示しながら説明します。



広島県立文書館

開館時間 9:00~17:00(土曜日は12:00まで)

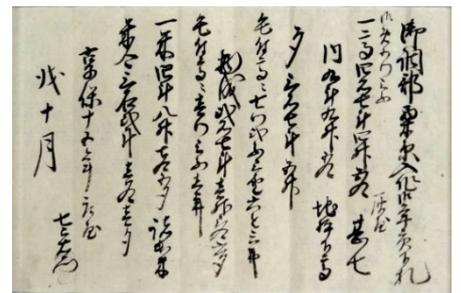
休館日 日曜日・祝日

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目7-47

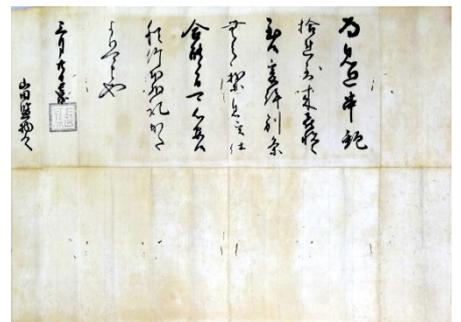
TEL 082-245-8444

Eメール monjokan@pref.hiroshima.lg.jp

URL <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/monjokan/>



御調郡栗原村年貢下札(橋本家文書)



浅野長晟書状(山田家文書)